

令和7年度 第8回朝日スーパーイン写真コンテスト 入賞作品一覧

【会長賞】

石崎 幸宏(東田川郡庄内町) 「錦秋の瀬音」(撮影:鶴岡市本郷地内)



【審査員講評】

縦構図でシャッタースピードを遅くして流れを強調する事で、手前の玉砂利から音が聞こえてきます。本流の深緑、木々の紅葉、雲と青空がうまく画面構成されています。

【副会長賞】

伊與部 純一(村上市) 「睡蓮の里」(撮影:村上市高根地内)



【審査員講評】

画面いっぱいにぎっちりと見事に睡蓮が収まっています。また、木の人工物がアクセントになり見る人にこれはなんだろうと想像してしまい、楽しませてもらえます。

【優秀賞】

齋藤 勝美(山形市)「光さすとき」(撮影:鶴岡市下田沢地内)



【審査員講評】

薄暗い渓谷に一筋の光。まさにこれを切り取るのは、カメラマンにとって最高の気分だと思います。

色調が人工色ぽくなつたのと、絞りが浅く奥行き感がでない点が最高賞には届かなかつた所です。

【優秀賞】

三浦 一喜 (鶴岡市)「新雪の東大鳥川」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

冬晴れの良い写真に出会いました。大鳥集落の橋の上からの写真だと思いますが、こんもりと雪帽子をかぶった玉石達が美しいです。プリントの仕上がりもピカイチです。

【入選】

五十嵐 貞一(鶴岡市)「早春の摩耶連山」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

天気がよく摩耶山がよく見えます。手前の木が湖水の水面を邪魔して、摩耶山の映り込みを邪魔している点が残念です。

【入選】

五十嵐 貞子(鶴岡市)「桜越しに見る荒沢ダム」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

この撮影場所を探して、ダムと桜を頑張って写した点に入選の価値があると思いました。